

2024年3月5日

各位

三井住友信託銀行株式会社

米ドル建て合同運用指定金銭信託受益権セキュリティ・トークンの発行について

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、ソニー銀行株式会社(代表取締役社長:南 啓二、以下「ソニー銀行」)を募集の取扱者とし、Securitize Japan 株式会社(取締役社長:ジェームス・エイチ・フィン、以下「Securitize 社」)が提供するプライベート型ブロックチェーン基盤を活用した米ドル建て合同運用指定金銭信託受益権セキュリティ・トークン(※1)(以下、「本 ST」)を発行いたしますのでお知らせします。

本取り組みは、投資家の皆さまにセキュリティ・トークンをより身近な投資商品としてお届けし、「貯蓄から投資へ」を実現するために、ソニー銀行向け米ドル建て貸付(以下、「本貸付」)等を運用資産とする「合同運用指定金銭信託」を組成し、当該合同運用指定金銭信託を裏付けとした米ドル建てのセキュリティ・トークンを発行するものです。

本貸付によってソニー銀行が調達した資金は、「気候変動・水・生物多様性対策など、環境に好影響を及ぼす事業活動」通称「グリーンプロジェクト」に資金用途を限定して発行された債券(グリーンボンド)に投資されます。本貸付は、ソニー銀行が策定したグリーンローン・フレームワークに定めるグリーンローンであり、当該フレームワークについては、株式会社日本格付研究所の「JCR グリーンローン・フレームワーク評価」において、最高位である「Green 1(F)」の評価を取得する予定です。

ソニー銀行は、「個人のための資産運用銀行」として2001年に開業したインターネット銀行で、人生100年時代を、自分らしく生きようとするお客さまのために“ためる、ふやす、つかう”を最新のテクノロジーで最適な提案をする銀行になることを目指しています。将来的な web3 時代の到来に向けて、デジタル証券への取り組みによる、お客さまに対して新たな投資機会の提供を検討しています。

Securitize 社は、2017年に米国で設立された Securitize, Inc.の100%出資子会社で、国内向けに発行から流通市場まで対応したブロックチェーン技術を活用したセキュリティ・トークンソリューションを提供し、企業の資金調達や本業支援に繋がる新しい資本市場の創造を目指しています。

当社は、2021年3月に証券化商品を裏付けとするセキュリティ・トークンを発行して以降、セキュリティ・トークンをはじめとするデジタル・アセットの活用に向けた研究開発に積極的に取り組んできました。今後も業種を超えた協業を通じて、投資家の皆さまに新しい投資機会を提供し、「貯蓄から投資へ」の実現、資金・資産・資本の好循環を創出していきます。

(※1)本書面は、米ドル建て合同運用指定金銭信託受益権セキュリティ・トークンの取扱いについて、一般向けの公表のみを目的としたプレスリリースであり、日本国内外を問わず個別の金融商品等への募集・勧誘を目的とするものではありません。個別商品の募集・勧誘は、金融商品取引業者を通じて目論見書を使用して行っています。

以上